

# 北陸農政局長賞受賞

～みんなの力で豊かな農村集落を継承～

わかさしもよしだ

受賞者 **農事組合法人若狭下吉田営農組合**

みかたかみなかくんわかさちょう  
(福井県三方上中郡若狭町)

## ■ 地域の概要

下吉田集落は、若狭町上中地域の中央、北川<sup>きたがわ</sup>と鳥羽川<sup>とぼがわ</sup>と J R 小浜線及び国道 27 号線に囲まれた平坦地であり、西北部は鳥羽川を挟んで里山と接している典型的な中山間地域である。

集落は、全戸数 36 戸、うち農家数 32 戸、水田面積 33ha で、若狭町内では平均的な集落であり、水田は 30 a 区画でパイプラインが整備されており、西側地域は浅耕土の乾田で、北側地域は半湿田となっている。



## ■ 主なむらづくりの内容

農家の高齢化、後継者不足等の問題から集落内の農地をどのように維持していくのかという意識が高まり、集落の農地は集落で守ることを目的に、非農家も含めた全戸参加型の集落営農組織を平成 19 年に設立。その後、関係機関からの支援を受けるとともに、役員を中心とした集落全体での検討を重ね、平成 24 年 1 月に「農事組合法人若狭下吉田営農組合」として法人化している。

法人では特定の専従者を置かずオール兼業のなかで、組合員全員が参加する共同作業を継続し、非農業者も田んぼの水管理や草刈に従事している。

生きものの力を活かした「安全で美味しい米づくり」を目標に、若狭町の中でもいち早く「冬水田んぼ」に取り組み、独自ブランド米「冬水幸福米」を生産し、町のふるさと納税返礼品として採用されている。

また、水田の生き物調査やホテルの観察会を開催したり、わら細工、集落に古くから伝わる「田の神祭り」、「戸祝い」などの伝統行事の保全にも力を入れるなど、地域の活性化に努めている。



写真 1 組合メンバー



写真 2 稲わら加工



写真 3 生き物調査